学校番号	１００１

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	災害と安全を考える	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・プリントや映像を通して、災害に関する基本的な知識を学んでいく。
・ケーススタディや、さまざまなワークショップ・校外学習などイメージトレーニングや実体験を
　通して、普段から災害に対応できる思考と対応力を身につける。

2　学習の到達目標

・災害の内容とその対処法や避難方法について、家庭や学校、職場などの環境の違いもあわせて、
　生きていくために必要な知識を身につける。
・災害に対する危機管理の意識を育み、それをどのように共有し、また人に伝えていくのかを考え、
　その内容を実践する。
・自分の命だけでなく、率先垂範者として行動できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	災害の発生原因、被害の内容、対処方法、避難方法など、災害に対処するための必要な知識を理解し、身につけている。	ケーススタディなどを通じて、災害が起きた時にどのように行動するのかを考え、その理由もあわせて、他者が納得できる説明をできるようにする。	異常気象が当たり前とされる現代において、自分だけでなく周囲の人の安全も視野に、災害に関する諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	表(b)	主(c)
前期	自然災害の仕組みと理解	日本の地理的環境 大阪の地理的環境 その他の災害	a:日本および世界で起こる災害の特性を理解している。 b:災害の特性を理解した上で、日常の様々な場面で起こりうる災害の危険性を把握し、その内容と災害に対してというる行動を説明できる。 c:災害の特性を理解した上で、どのように減災や防災を実践していくかを考える。	プレゼン	プレゼン	振り返りシート(オンライン)
	災害に備える	自助	a:災害時に必要な行動及び、各種災害に備えるために必要なことを理解する。 b:災害への備えや対処法について、地域社会の一員として様々な観点から考え、表現している。 c: 防災・減災に対する高い意識を持ち、現代社会の一員として災害とともに生きる生き方を考えていく態度を身につけようとしている。	定期考査	プレゼン	振り返りシート(オンライン)
後期	災害に備える	共助 公助	a:災害時に必要な行動及び、各種災害に備えるために必要なことを理解する。 b:災害への備えや対処法について、地域社会の一員として様々な観点から考え、表現している。 c: 防災・減災に対する高い意識を持ち、現代社会の一員として災害とともに生きる生き方を考えていく態度を身につけようとしている。	プレゼン	レポート	振り返りシート(オンライン)

	災害に遭遇したら	情報の収集と対処 避難所の経営 障がい者・高齢者などの社会的弱者の存在を想定した災害対応	a:災害時に自分が生き延びるだけでなく、二次災害を防ぐ、災害弱者をどうするかを理解するなど、より広い観点を身につけている。 b: 危機に際して広い視野に立って多面的・多角的に考察し、冷静に状況を判断し危機管理できる思考力を身につけている。 c:地域の一員として、より多くの人が被災時に助かるようにするにはどうしたらいいのかを考え、課題に取り組んでいる。	定期考査	レポート	振り返りシート（オンライン）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度